

(様式)

小中一貫授業改善プラン 重点観点及び重点指導事項一覧（蒲田中学校区）

令和5年度

国語科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の中で国語辞典を活用し、言葉の意味を正確に理解させる。 ・ICT機器を活用し、様々な人の意見を確認し合い、語彙を豊かにする。 		

社会科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、我が国の国土や地理的環境、現代社会の仕組みや働き、歴史や伝統文化などに関する資料を提示したり、調べさせたりすることで社会生活について理解させる。 ・学習の中で得た知識をもとに、資料を活用して、自らの意見をまとめることができる。 		

算数・数学科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの振り返りを効果的に実施し、自己理解につとめる。 ・ICT機器を活用し、数学的概念の理解・数学的な表現や処理の仕方を活用できるようにさせる。 ・問題に対し解答までのプロセスを大切に、自分の言葉で説明できるようにする。 		

理科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・理科を学ぶことの意義や有用性を実感させる指導を重視する。 ・予想や仮説を基に、観察や実験などを行い、結果を整理して結論を導き出すことで、問題解決の力を身に付けさせる。 ・ICT機器を活用して観察や実験などの様子を記録し、問題解決につなげられるようにさせる。 		

音楽科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜に書かれている音楽記号を活かし、表現を工夫させる。 ・音楽の成り立ちを理解したうえでの表現の工夫により、技能を高めさせる。 		

図画工作・美術科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動における技能の習得や授業及び日常生活での鑑賞を通して美術文化の意識を高める。 		

保健体育科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点			◎
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点			◎
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにさせる。 ・「運動に対して苦手意識をもたせない」「運動嫌いな生徒をつくらない」指導方法の工夫と改善。 		

技術・家庭科

観点別			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した技能を適切に評価・活用できるよう、活用と思考の場面を授業内に多く設定する。 		

外国語科（英語）

観点別（指導要録に記載されているもの）			
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・活発なコミュニケーション活動のために5W1Hの表現を継続的に活用する。 ・小中の円滑な接続のために小学校から4本線を意識して書き、ローマ字のへボン式表記を扱う。 ・デジタル教科書とALTを効果的に活用して英語音の習得に重点を置く。 		